

11月18日(土) 医学セミナー(医師の学校訪問)が開催されました。 (茨城県一人一人が輝く活力ある学校づくり推進事業)

本校、光プロジェクト・医学部進学支援の一環である、医学セミナー(医師の学校訪問)が、以下の要領で開催されました。

参加生徒は 17 名でしたが、非常に充実した時間を過ごすことができました。茨城西南医療センターの医師、長谷川 誠先生には、医師とはどんな職業であるか、看護するとはどういうことかなどについて、素晴らしい講演をいただきました。

医学生とのディスカッションは、非常に活発なものでした。医学生たちが自ら医学書や授業ノートを持参し、下妻一高生に丁寧に説明してくれる姿には感動しました。ディスカッションには長谷川先生にも参加していただき、貴重なアドバイスをいただきました。

1 講話(70分) 長谷川 誠先生

※長谷川先生の資料より

2017年11月18日
高校生のための医学セミナー(下妻第一高等学校) 茨城西南医療センター病院小児科 長谷川 誠
① 自己紹介
② 医療の仕事を通して社会に貢献する 真摯に、地道に、謙虚に(完璧な人はいない) ストレスと成長発達
③ 医師とは 人との関わり(コミュニケーション)を大切にする 人はそれぞれ違う存在であることを(お互いに)認めること
「新訳・ナイチンゲール書簡集」 書簡1 より



2 医学生とのディスカッション(3分科会)(50分)

参加して下さった筑波大学の医学生

- ・小西 初さん(2年生) 北嶺高校出身
- ・柴崎 史行さん(2年生) 下妻第一高校出身
- ・福元 崇人さん(1年生) 下妻第一高校出身



3 実施後の生徒アンケートより

○このセミナーは役に立ちましたか？ 大いに役に立った。(参加生徒全員からの回答)

○生徒の声

- ・講話とディスカッションのどちらも具体的に分かりやすく説明していただいたので参加して良かった。なぜその職業につくのかを具体的に考えることが大切だと感じた。
- ・医学生から、理科の選択についてのアドバイスをもらい悩みを一つ解消できた。
- ・セミナーに参加して、医学部とは、また医師とはどういったものであるかを学ぶことができた。
- ・母親の希望で参加した。参加して医療分野にはいろいろな関わり方があることがわかり、諦めるのは早いと感じた。貴重な話がうかがえて良かった。
- ・昨年参加してとても良かったので今年も参加した。医学生からのアドバイスを参考に頑張ろうと思った。
- ・生物系か医療系か迷っている。大学生からアドバイスをもらえて参考になった。モチベーションが上がった。
- ・リアルな医療現場の内容や雰囲気を知ることができて良かった。チーム医療の大切さを知った。
- ・本物のドクターと関わる機会はほとんど無いので、このようなセミナーは貴重です。看護系希望ですが、医師や医学生からみた看護師のイメージがわかった。入試で圧迫面接を経験した先輩からの話はとても参考になった。
- ・昨年も参加したが、現役医師や医学生に会うということ自体が自分のモチベーションを高めてくれるし刺激にもなる。3年生になっても是非参加したい。

(2年生から多数)

◇セミナー終了後、講師控え室に来て質問する生徒が多数いました。長時間にわたり丁寧に対応いただいた長谷川先生、医学生の皆さん、ありがとうございました。

